



▲張り詰めた空気の中、日ごろ鍛えた腕を競い合う剣士たち

## 鍛えた技を競い合う

石越で第58回石越町剣道大会

50年以上の歴史と伝統を持つ「第58回石越町剣道大会」(石越町剣道協会主催)が1月23日、石越公民館で開催されました。この大会は、年々減少傾向にある剣道競技の普及と青少年の健全育成を目的に開催され、石越地区内の小学校1年生から65歳までの剣道愛好家約70人が出場しました。大会は、2組に分かれての紅白戦や、参加者全員による相対戦が行われました。出場した選手は、皆楽しみながらも日ごろの練習で培った技術と精神力を競い合い、力強い試合を繰り広げました。

## 心の中の鬼を追い払え！

中田保育所で豆まき会

中田保育所で2月3日、豆まき会が行われました。会では、最初に節分の由来を聞いたり、みんなで歌を歌ったりした後、園児が楽しみにしていた先生による劇が披露されました。劇では、体の中に「いじわる鬼」や「泣き虫鬼」がいて困っている動物たちに、園児が豆をまいて鬼を退治しました。その後、園児たちが元気に「鬼は外、福は内」と掛け声を掛けながら豆をまき、自分の心の中にいる鬼を退治しました。豆まきの後は、まいた豆と一緒に拾い、みんなで仲良くおいしく食べました。



▲みんなで「鬼は外、福は内」と元気に心の鬼を退治しました

佐沼中学校であいさつ運動

## 一日の始まりはあいさつから

佐沼中学校では、登校時に互いに元気よくあいさつする事で、生徒が明るく元気に過ごせるようお願いを込めて3年前から「朝のあいさつ運動」を実施しています。1月19日には地区民生委員の皆さんも声掛けに参加し、生徒は元気にあいさつしながら登校していました。この運動は、生徒会と教職員、PTA役員や地域の皆さんが協力して行っており、活動を通して「佐中サポーター」というボランティア団体が組織されるなど、学校と地域が協力して青少年の健全育成に努めています。



▲多くの皆さんが参加し、活動が続いている「朝のあいさつ運動」



▲雪が舞う寒い日でしたが、多くの皆さんが協力して交通安全をPR

## 冬の交通安全を広くPR

南方で交通安全餅餅キャンペーン

凍結や積雪などによりスリップ事故が多発する冬期の交通安全を広く啓発することを目的に2月13日、登米みなみ商会南方支所前の交差点において、交通安全餅餅キャンペーンが実施されました。キャンペーンでは、南方地区交通安全指導隊と交通安全協会南方支部の皆さんが中心になり、「気もちにゆとりをもちましょう」のテーマにかけ、信号機と同じ「赤・黄・青」の3色のもちと交通安全グッズをドライバー一人一人に笑顔で配布し、冬道の安全運転を呼び掛けました。

## 男たちが家々の火伏せを願う

東和の米川五日町地区で伝統の水かぶり

国の重要無形民俗文化財に指定されている「米川の水かぶり」が2月8日に米川の市街地で行われました。この祭りは米川五日町地区に古くから伝わる火伏せ行事で、地区の男たちがわら装束に身を包み神様の使いとして、家々に水を掛けて火伏せを祈願します。また、身に付けているわらを抜き取り、屋根に上げると火伏せのお守りになるとも伝えられていて、水をかぶりながらもわらを抜き取る子どもたちや勇壮に練り歩く男たちの姿を写真に納めようとするカメラマンで沿道はあふれていました。



▲神様の使いになるため、秋葉山大権現に向かう男たち

## 火災から文化財を守ろう

津山で文化財防火デー防災訓練

第57回文化財防火デーに伴い1月23日、津山町石貝の道祖神薬師如来で防災訓練が実施されました。訓練は、となりの倉庫からの出火したという想定で、石貝自主防災組織・津山支部婦人防火クラブ員による初期消火訓練や負傷者への応急救護訓練、また登米市消防団津山支団によるポンプ車での火災防御訓練と、それぞれ災害の状況に応じた各種訓練を行いました。今回の訓練では、貴重な文化財に対する火災予防対策や、いざという時の対応の仕方を再確認するなど大変有意義な訓練となりました。



▲いざという時に備え、真剣に応急救護を訓練する皆さん